



みどりの風

平成25年1月8日発行
校報 第493号
〔みどりの風 第36号〕
練馬区立関町北小学校

新年を迎えて

校長 大野 泰弘

あけましておめでとうございます。

保護者、地域の皆様におかれましては、よき新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、ますますご健勝で、幸多い一年となりますことをお祈り申し上げます。

さて、今日から、子どもたちの元気で明るい笑顔が学校に戻ってきました。旧年にも増して、子どもたちが夢や感動などをたくさん得ることができ、笑顔や喜びにあふれた毎日となりますように、教職員一同、一所懸命努力していく決意でございます。

年頭にあたり、私にとって、学校をお預かりするうえでの基本的理念である「心を開き、夢を育てる」ということは、今年も変わりませんが、昨年に倣って、今年は学校の教育活動を次の3つの視点から考えたいと思っています。

それは、「Steady」(堅実に)、「Step」(前へ踏み出す)、「Satisfaction」(満足感)ということです。

2年前の東日本大震災の後、一昨年は「安全・安心・安定」を最優先に取り組み、昨年は「Continue」(継続)、「Connect」(接続)、「Create」(創造)の3つのCの視点を重ねて教育活動を推進してきました。

その礎のうえに、今年については、現状では次のように考えています。

昨年から新たに始めた東京都教育委員会言語力向上推進校としての取組みを、今年も、他のすべての教育活動と合わせて、着実・堅実に「Steady」を進めながら、昨年を Hop の年とすれば、今年は一歩でも前に踏み出す「Step」の年となるようにしていきたい。それをもって、子どもたちも、保護者も、教職員も、そして、学校教育にかかわってくださるすべての方々が、高い満足感「Satisfaction」をもち続けることのできる学校でありたい。

これをどのように具現化していくかが、来年度に向けての「教育課程の編成」ということになります。昨年末にご協力いただいた本校の教育へのアンケートは集計が終わりましたので、それをもとに、校内の各部署で検討を始めてまいります。その結果につきましては、来月お伝えいたしますが、今年度はまだ3ヶ月残されています。それぞれの学年では、進級に向けての準備、6年生にとっては卒業という大きな節目が待っています。この3ヶ月は、子どもたちには、とても大切な時期になります。

教育は学校だけで、あるいは、家庭だけで完結するほどたやすいものではありません。教育は、人生観、世界観、歴史観、又は子ども自身のものの考え方・生き方を含め、様々な価値観が含まれる営みです。子どもたち一人一人が将来をたくましく豊かに生きていくために、家庭と学校、そして、地域社会や行政も含めて、相互に補完し合いながら、人として求められる心・技能・能力などを育てていくことが必要です。将来の子どもたちの人生に少しでもプラスになると思われることは、果敢に実践に移していきたいとも考えます。

残された3ヶ月を含め、今年も教育目標の「共に生きる」という精神を基調として、本校に通うすべての子どもたちにとってよりよい教育実践をしてまいりたいと存じますので、今後も引き続き、皆様方の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。